

Y. N. 英語英文学科・4年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

準備期間中は、勉強面では、単語や長文の問題をやっていました。TOEFL 受験前よりはかなり気が抜けたダラダラ勉強でしたが、何もやらないよりは絶対によかったと思います。あと海外ドラマを見たりもしました。アメリカの家庭の雰囲気とかつかめるかもしれません。文法をしっかり固めていくと、留学中の伸びが大きいのではないかと思います。それから、ビザの手続きは本当に早めにするをお勧めします！！よっぽどのことがない限りビザは下りると思いますが、書類に不備があった場合、何か色々作業があるらしく、2週間くらい??余計に時間がかかるかもと脅されました。私はビザを申請し始めたのが出国の2.5週間前くらいだったので、ビザの申請中はちょっと不安でした……。なので、1か月前には始めたほうが良いと思います！

② 現地到着後

語学研修先の EMU から迎えが来たので移動手段には困りませんでした。DC のダレス空港から EMU までは車で2時間くらいです。さらに EMU から MBC までは車で30分くらいです。(だから引っ越しが楽ちんでした☆) オリエンテーションも諸手続きも何だかんだでイイ感じに進むので心配はいらないです！

③ 語学研修期間 (ESL, Academic Skills Study)

◆ 語学研修先の施設・環境について

5月、6月半ばまでは、EMU の学生寮の一つにアメリカ人のルームメイトと住んでいました。共同ですがキッチンも冷蔵庫もあったので好きに料理もできました。6月の半ばを過ぎると、EMU の学生が夏休みで寮を出て、学校内がすごく静かになります。私と I さん(一緒に留学した子です☆)は、それと同時に EMU の寮を追われ、なんと一階建ての一軒家に2人で住んでいました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は最初にプレースメントテストがあり、クラス分けされます。なので、EMU に行く人は一生懸命勉強していきましょう！課題は多すぎず、少なすぎず(授業・課題よりも、フィールドトリップが過酷です)。試験は、語学研修が終わる区切りに大きいものがあるのですが、それに合格する(というか合格基準点に達する)と EMU 入学許可証がもらえます。私も I さんも含め、Advance クラスの人は、そこそこ合格していたので、頑張れば普通に合格点とれます。将来的にアメリカの大学への3年次編入とかを狙っている人は、EMU で頑張っておくと、とりあえず1個は候補ができていいと思いますよ☆

④ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学の施設はとにかく白いです。眩しいので目が弱い方はサングラスいるかもしれません。環境は田舎で穏やかで、基本的に優しい人たちに囲まれて過ごせます。いいところです！図書館もピアノルームも大好きで、よく利用していました。リスがたくさんいて、秋にはリスが大きい木の実を抱えて走っているレアな姿が見られます。

◆ 履修科目

MBC101

オリエンテーションの科目です。MBC のイベントについて教えてもらえたりします。あとは、留学生同士で話し合う機会が持たれます。この科目は取りたい・取りたくないに関わらず必須です。

Beginning Yoga

何か運動をしたいと思ってヨガのクラスを取っていました。毎週レポートが出るのですが、コツコツやっていたら大変ということはありません。先生が金髪美女でした。

ESL

語学研修で ESL のコースは受けていたので必要ないかなとは思ったのですが、とりあえず取ってみました。出席すれば確実に単位は取れます！最初のやる気満々な時期は「こんな簡単なクラス取りたくないよ〜！」とか思っていたのですが、他のクラスが一気に大変になってきた頃（秋休み後、一気に大変になりました！）「あ〜このクラス取ってよかった☆」と思った私がありました！ちなみに一応留学生必須科目なのですが、取りたくない時は取り消せます。いい息抜きにもなるし、一般教養科目などが足りていない人が保険に取っておくにはいい授業です！

Film Analysis

留学中、もっとも私を苦しめた科目です。火曜日と木曜日、週に2回あったのですが、毎週火曜日に映画を見て、木曜日までにその映画についての分析レポート（4 ページ、設問8個）の提出が必須でした。そのレポートに加え、先生が出すテーマに沿った短い論文（2〜3 ページ）も木曜日までに毎週提出。さらに木曜日には分厚くて読む気が全く起らない教科書を20〜30 ページ読み、「内容をまとめよ」、とかそういう感じのレポートが2週間置きくらいにありました。ずっと文句タラタラたれていたのですが、この授業のおかげで Writing は飛躍的に伸びたと思います！最初の一つのレポートに4時間もかかっていた「こんなのやってられない！」と書いていたのですが、最後のほうは1時間もあれば書ける勢いでした。文法のミスも減ってゆきました。

Interpersonal Communication

とにかく Reading の量が半端なかったです。留学前にコミュニケーション論を日本で取っていましたが、たしか、1年間で本半分〜1冊？くらいだったのに、MBC では3カ月で分厚い本1冊を無理矢理終わらせていました。先生の飛ばし方がちょっと笑えました。2回テストあったのですが2回とも徹夜しました。・・・が、2週間くらい前から学習計画をよく立ててシッカリ対策をしていればこんなことにはならないはずです！それと、先生の言うことをよく聞いておかないと、「えっ??！」ってなるので要注意です。授業では友達間、家族間、恋人間、異民族間でのコミュニケーションをそれぞれケース・スタディで見ているので学びました。あとは、同女のコミュニケーション論でも勉強したのですが、非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションについてレポートを書いたり、映画を見たりしました。

Culture, Identity and Communication

この授業も Reading が多く、おまけに教科書が難しかったので大変でしたが、アメリカ人の友達が手伝ってくれて、なんとかテストも乗り切ることができました。黒人や、ユダヤ

人、スパニッシュ、中国系移民など、アメリカにおけるマイノリティーの人たちのアイデンティティー構築の段階や、彼らの思っていること、体験などを勉強しました。内容は面白かったです。人種以外にも **Social classes** などに言及したテーマもあり、日本人の私にも理解しやすいセクションもありました。この授業も2回テストがありました。2回とも友達に助けてもらいました・・・。その子がいなかったら間違いなく単位を落としていました。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業、レポート、定期試験については上に書いたとおりです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

何気にアニメクラブに所属しました。アメリカのオタクは、皆自分がオタクであることに誇り (!) を持っていてオープンマインドで、とにかく堂々としていて印象的でした。日本語のクラスを取っている子たちや、日本に興味がある子は殆どが日本のアニメファンらしいので、大量に友達をゲットしたいのならアニメのクラブに参加してみるのが吉だと思います、本当に! (もしくは日本語のクラスの TA をやってみる)。本場からやってきたということで、超絶大歓迎されます。アニメ・漫画に詳しくなくてもワン〇ースや NA〇UTO を雰囲気知っていれば大丈夫かもです。ドラ〇ンボールファンやスラム〇ンクファンは意外に少ないです。

⑥ 現地での住まいについて

寮は留学生用の寮でした。これは MBC 側が決めてくれているので心配ご無用です。

ルームメイトは皆アメリカ人の子なので、分からないことがあれば聞けるし、留学生寮に住んでいる子たちは海外の文化に理解や興味があるので友達にもなりやすいですよ。設備は私的には申し分なく快適でした。ルームメイトも常識があり、優しく、いつも助けてくれたのでかなり楽しく過ごしていました。食事については・・・たまには自炊するのもいいんじゃないでしょうか、とだけ言っておきます。通学にかかる時間は教室の場所によりけりです。音楽・美術・体育関係の教室は遠いのですが、それ以外は3分くらいで行けます。

⑦ 長期休暇の過ごし方

夏休みは、Iさんとフロリダのディズニーランドに行きました! めちゃくちゃ大きくて全部は見て回れなかったけれど、いい思い出ができました! 案外安く行けるので、アメリカに留学される方はぜひ行ってみてください☆ (ただし、サービスは100%日本の勝ちです。) また、家族が NY まで会いに来てくれたので、アムトラックで6時間かけて NY 行ってきました。ちなみに冬期休暇に入って帰国する直前、またまた Iさんと NY を再び訪れたのですが、風がめちゃくちゃ冷たいので NY 行きたい人は夏のほうがいいかもしれません。夏の NY はそんなに暑くないし、快適だと思います。ブロードウェイのミュージカルは必見です! 私たちは「ウエストサイド。ストーリー」しか見なかったのですが、「ウィキッド」が一番いいらしいです。

⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

正直に言って4年生で留学してしまうと、みんなと同じ就職活動はできません。なので、就職活動に賭けたい!! もしくは就職のために大学生活を頑張ってきた!! という人は、4年次の協定留学は止めておいた方がいいと思います。ちなみに私は1年生のころから留

学を狙っていたので全く後悔してません☆(笑)

一応、留学から帰ってきた後、「バイリンガルのための就職キャリアフォーラム」というものがあり、大学協定留学や留学していた学生（語学留学生はダメみたいですが）を対象に選考を行ってくれる企業がいくつかあります。有名企業や大企業もちよつとは来ていたので、思っていたよりは良い就職活動ができました。ただし、募集人数そのものが少ないこともあり、機会の面で言うと、やはり不利です。それに、日本の就職活動事情に疎い（だが語学力と海外経験がある）学生を捕まえようと（？）いわゆるブラック企業がまぎれて待機しているので、事前に下調べを良くした方がいいです！大企業狙いならば、基本的にボストンキャリアフォーラム（その日のうちに内定が出る）で内定もらえないと厳しいです。ちなみに私は留学期間中からエントリーシートなどを書き始め、帰国前はちょこちょこ企業研究をしたりしていました。別に協定留学に行ったから就職活動が全くできないということはありません・・・が、不利なことは不利です。

でも、卒業3年以内の学生は新卒として就職活動できるようにする、という企業がちらほら出てきてるみたいですし、普通に就職活動していても就職できないときはできないので、行きたいと強く思うなら、行っても後悔はしないと思います。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

楽しかったことは、夏休みと帰国前の NY です！夏には家族で「オペラ座の怪人」をブロードウェイで観たのですが、本当に久々に心の奥底から感動したのを覚えています！冬は夏によく見て回れなかった7番街周辺を見て歩いたのですが、あらかじめ本でおいしいベーグルのお店を調べて行ってみたい、ニューヨークチーズケーキの有名なお店に行ったり、コリアタウンの美味しい韓国料理を食べたり、チャイナタウンに行って中華料理を食べたり（食べ物のことばかり・・・）とにかく美味しい楽しい思い出がいっぱいできました！留学を決められた方は、お金をたくさん用意して行っているいろんな所に行った方がいいと思います！

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

Film Analysis です。特に、内容が全く理解できなかった映画について書かなきゃいけないときは、しんどかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

- ・ アメリカ人の殆どが朝シャン派だったこと。
- ・ トイレの時、大きくない方ならば手を洗う必要がないと思っている人の多さ。
- ・ クリスチャンの多さ。
- ・ クッキーの甘さ。
- ・ 映画館で映画中に皆が普通にしゃべったり、笑ったり、拍手したりすること。
- ・ お金を請求されるので、都会では、やたら親切にしてくれる人には警戒しなければならないこと。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

<良かった点> 皆が親切で協力的だったことです。留学生のサポートがしっかりしているし、小さい大学なので？友達も作りやすいのではないかと思います。また、ダウンタウンがすごく可愛い町で、散歩が楽しいし、月に1回？MBC の生徒は映画がタダで観れます。私も友達とハリーポッターなどを観に行きました☆施設も充実しているし、授業以外でも自由参加のエアロビクスクラスやヨガクラスがあります。私はときどきエアロビクスに参加していたのですが、めちゃめちゃ汗をかくので、あれで結構カロリー消費したのではないかと思います。

<悪かった点> ジムと音楽室だけかなり隔離されていて、たまに行くのが嫌になりました。それと、やっぱり食事がいまいちでした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンだけは本当に持って行った方がいいです。スカイプで家族と話せたのが大きかったと思います。(国際電話はお金がかかるので・・・) インターネットも寮の部屋で使い放題なので就職活動したり、ニュースを見たりできます。あと、文房具は日本のものがいいと思うのですが、ルーズリーフなんかは買っていく必要はないと思います。洗濯ネット、歯ブラシは日本から持っていくことをお勧めします。それから、荷物になりすぎない程度でお気に入りの日本食を持って行っていると、たまに恋しくなった時にいいと思います、本当に日本食が恋しくなるので！それから、パーティーに行く機会がきっとあると思うのですが、ドレスを買うにはワシントン DC や NY などの都会に出ないと買える場所がないので、可愛くてフォーマルな感じのドレスを持っている方は持って行った方がいいんじゃないかなと思います。逆に日本から持っていくと損をするものはシャンプー・リンス・ボディソープなどです。普通にパンテーンとかダブとかがドラッグストアに売っています。洗剤とかも全然ありません。同じく、ドライヤー、アイロンもかなり安い(日本円で1,990円くらい?)ので、私も現地で買いました。

③ 語学力の向上等、留学の成果

語学力は、やっぱり大きく伸びたんじゃないかと思います。特に Reading と Writing はかなり成長したと思います。それと、留学に行ったことで、根拠はないけれど、やれば何でもできる！と自信ができました。外国人と話す時も物怖じしなくなったし、良い思い出もたくさんできたし、行って本当に良かったです！！

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

TOEFL が最初の難関だと思いますが、頑張ってください！ Reading4 点、Listening3 点からのスタートでも何とかなので、絶対に何とかかなると思います！合格のカギは同じ目標を持って高いモチベーションと一緒に勉強してくれる友達です！！I さんがいなければ合格してなかったかも・・・とリアルに思うので、ぜひ仲間を見つけてください☆留学すると視野も広がるし、考え方も大きく変わるし、キャパも広がります。何より、楽しいですよ！

T. I. 日本語日本文学科・3年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

ビザ申請、現地で使う物の買い物、健康診断や予防接種など、毎日忙しかったです。留学準備は思った以上に大変なので、早めに始めることをお勧めします。語学の勉強も TOEFL から日常会話に焦点を当て、勉強していました。帰国後ゼミに入る予定のある人は、ゼミの先生に留学中できることはあるかなど聞いておけば参考になると思います。

② 現地到着後

空港からは、語学学校の手配で車で送迎がありました。授業が始まるまで 1 週間程度オリエンテーション期間があり、買い物、校内ツアー、学費支払い、クラス分けテストなどが一日中ありました。

③ 語学研修期間 (ESL, Academic Skills Study)

◆ 語学研修先の施設・環境について

大学付属の ESL だったため、大学内に ESL 用の小さい校舎がありました。初めの 2 週間は、アメリカ人生徒と一緒に寮に住みましたが、夏休みに入るため、同女の子と校内のアパートメントに二人で住みました。昼以外は自炊生活でしたが、近くにスーパーがあったため、食生活は不便ではありませんでした。日用品を買いに行くときはもっと大きなモールに行くのですが、車がないときはバスを乗り継いで行きました。アパートメントは大学の端にあったため、大学の無線 LAN が届かなかったので、不便でした。テレビも電話もなく、有料洗濯機が外にありました。宿題は多かったですが、比較的時間に余裕があったので、ピアノルームでいつもピアノを弾いていました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は 3 タームに分かれ、初めの 4 週間は Listening& Grammar、次の 2 週間は integrated skill、次の 4 週間は writing とリサーチペーパーを仕上げるというものでした。リサーチペーパーを書く上で APA スタイルなどを教えてもらったので、英文学科ではない私にとってとてもためになる授業でした。クラスは初めにレベル別で、私は初め intermediate でしたか、2 ターム目で英語力の伸びが認められ、Advanced にクラスチェンジされました。全ターム終了後にテストがあります。この試験に合格すると、付属の 4 年制大学に入学できる許可証を貰えます。学習環境はとても良かったと思います。日本人が私ともう一人の同女生しかおらず、英語に集中するのにとてもいい時間でした。さらに、学生は学期末のテストに合格しなければ大学に入学できないので、みんな勉強に真剣で、互いに切磋琢磨することができました。

④ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

留学生とアメリカ人生徒共同の寮に住みました。2 人部屋で、部屋には鏡付きのたんす、勉強机、ベッド、クローゼットがありました。トイレ、シャワー、小さいキッチン、洗濯機が共同です。食事は 3 食ダイニングホールで食べました。特に不便ではありませんでしたが、寮は騒がしかったので、いつも図書館で勉強していました。図書館は夜 0 時まで開いています。

◆ 履修科目

Development and Diagnostic Reading and Practicum

年少者に対する国語教育（英語）を学ぶ授業です。300 番台の授業で、予習の Reading の量が、週 100 ページを超えていました。さらに、学期内 30 時間以上の実習があり、歩いて 30 分の小学校に週 2 回通っていました。2 回のテストもあり、とても大変な科目でしたが、アメリカの小学校を実際に見て、子どもたちと交流を深めることができたのでとても充実した授業でした。

Culture, Identity, and Communication

主にアイデンティティーに関するトピックについてのディスカッション形式の授業です。テキストが黒人と白人を主に取り扱っているため、理解に苦しむことが多かったですが、ディスカッション形式の授業は初めてだったので新鮮でした。また、グループワークが数回あり、アメリカ人生徒の足を引っ張らないように必死でした。その他、2 回のテストがあり、とても大変だった授業です。

Elementary Japanese (Teaching Assistant)

私は日本語教育を専攻しているので、この授業の TA をすることが留学の最大の目的でした。週 3 回の授業に出席し、さらに週 1 回の Study Session（質問やもっと勉強したい子が集まる）、週 2 回授業についていけない子の Tutor をしていました。学期末にはプレゼンをしました。拘束時間が長かったですが、とてもいい勉強になりました。

American Culture

留学生専用の授業です。アメリカの文化について学び、週にひとつ essay の課題が出ます。フィールドトリップにも行きました。

MBC101(orientation)

留学生用のオリエンテーションです。

◆ 授業、レポート、定期試験

Essay は、writing center でリバイスしてもらうことができます。定期試験は、受けたい時に受けたい科目を受けます。留学生は辞書持ち込み可にしてもらえることが多いです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

テニス部に入りたかったのですが、Fall Term は活動していませんでした。語学学校のときは週に 2 回地域のテニスチームに参加し、ダブルスの試合にも出場しました。

⑥ 長期休暇の過ごし方

フロリダのディズニーワールドに旅行にいったあと、去年 MBC から同女に留学に来ていた子の家に 2 週間、泊めてもらいました。その間に家族がロスに来たので、会いに行きました。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

卒業後は大学院進学希望だったので何もしませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

21歳の誕生日です。11月4日に21歳の誕生日をアメリカで迎えました。0時になった瞬間、私はいつものように宿題に追われ、廊下でパソコンとにらめっこしていて、自分の誕生日を忘れていました。突然、友達の部屋に呼ばれ、行くと、International のみんなが「Happy Birthday!」とあって、手紙やプレゼントをくれました。思わず涙してしまうほど嬉しかったです。別の日にはホストファミリーが家でバースディパーティを開いてくれました。お手製の料理とケーキとご馳走になり、本当の家族のようでした。また、週末には料理好きのアンバサダーが私のためにケーキを作ってくれるといい、寮の小さなキッチンでいっしょにチョコレートケーキを作りました。みんなが祝ってくれた誕生日は本当に幸せでした。素敵な思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

ルームメイトと生活習慣が合わず、ケンカになったことです。彼女は朝方4時までスカイプをしていて、昼間寝ているので、自分の生活リズムを崩されました。夜は外で電話をしてほしいときちゃんと伝えても、“I can't change.”と言われ、最終的に RA という寮を管理している人を含めて話し合いをしました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

トイレの後に手を洗わない人が多い、アニメを好きな人が多い、授業が少人数など、たくさんあります。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

【良かった点】 田舎だったので、勉強に集中できました。また、小さい大学だったので、教授や生徒がとても親切でした。MBC は同女との交流が深いので、MBC のスタッフや国際交流センターのスタッフの方が対応に慣れておられていたので安心して過ごすことができたのも良かったです。

【悪い点】 ダイニングホールの食事がヘビーローテーションだったので、辛かったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必需品です。その他必需品は、

- ・ 飲みなれている薬（普段病気をしなくても、一応日本の薬を持参することをお勧めします。）
- ・ 基礎化粧品
- ・ 体温計
- ・ 文房具(特にペン、シャープペンシル、ファイル)
- ・ 歯ブラシ(アメリカのは大きすぎます)
- ・ 日本の食べ物（だしのもとや乾麺、即席味噌汁など。カレーを持っていくと、お世話になった人にカレーを作ってあげることもできるし、自分自身も食べることもできます。）
- ・ 洗濯ネット（アメリカの洗濯機は荒いです。）
- ・ ハンドクリーム（アメリカは乾燥大国です。）

- ・ 電子辞書
- ・ 文法書（語学学校であると便利です。）
- ・ クレジットカード
- ・ 折り紙（子どもたちに喜ばれます）

タオルや、シャンプーなど日用品はアメリカでも揃うのでいりません。

③ 語学力の向上等、留学の成果

留学当初の英語力があまりなかったのですが、1 ヶ月も経たないうちに向上が目に見えました。リスニングが一番苦手でしたが、帰国後全く聞き取れなかった TOEFL 用の教材が聞き取れるようになっていました。大きく変わったのは、自分の言いたいことを理解してもらおうと度胸がついた点です。少々のことではへこたれない根性もつきました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は留学を決意した頃、英語は大の苦手(TOEIC340 点)でしたが、独学で何とか TOEFL の基準点をクリアし、協定留学に合格することができました。留学は、一生に一度あるかなにかのチャンスだと思います。是非、何にも代えがたい素敵な経験をしてみてください

IV. 写真



←

MBC の Junior Dads で、international で撮った写真です。

→

MBC の私の部屋です

